

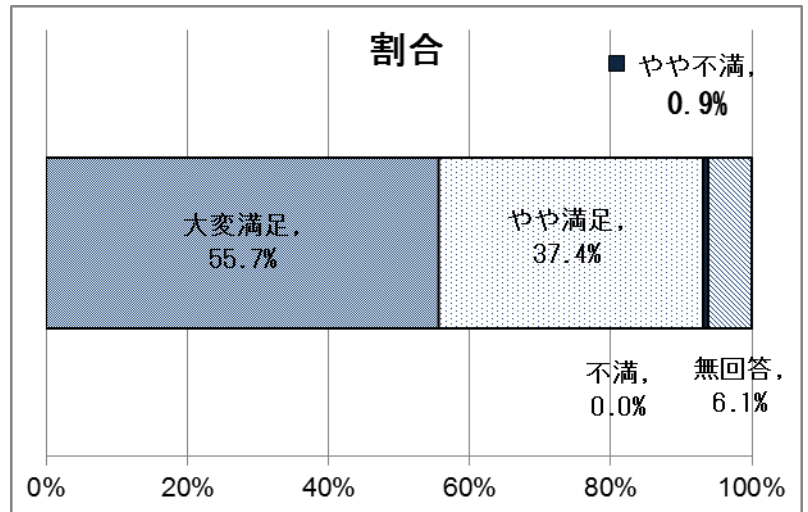
OACミニフォーラムアンケート結果

参加者数：139人

アンケート回答数：115人(回答率82.7%)

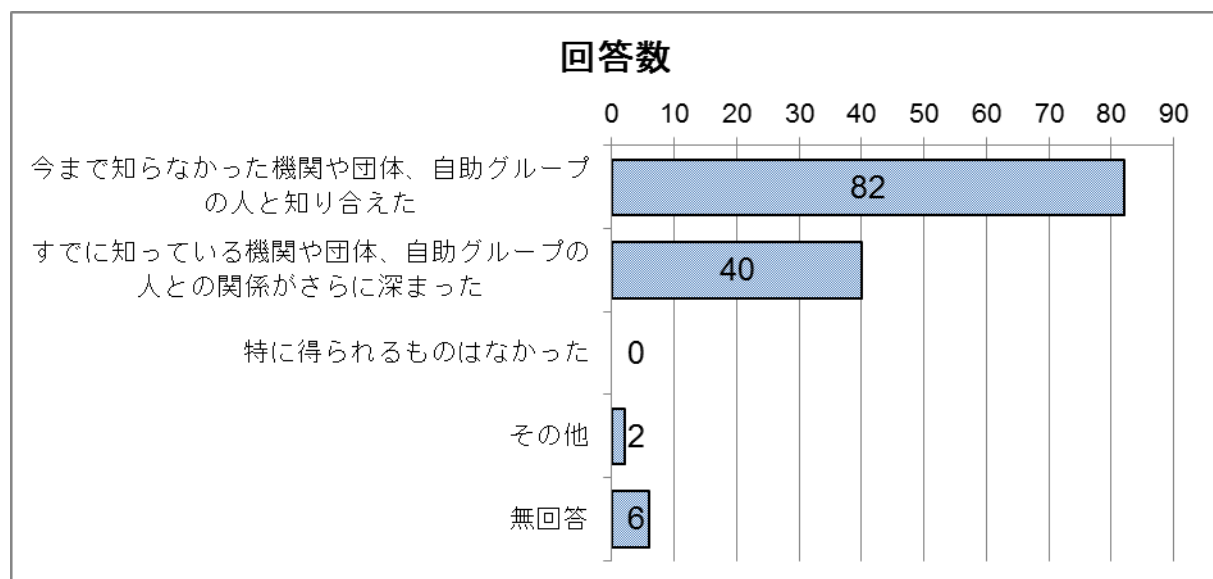
1. 満足度

	回答数	割合
1. 大変満足	64	55.7%
2. やや満足	43	37.4%
3. やや不満	1	0.9%
4. 不満	0	0.0%
5. 無回答	7	6.1%
計	115	100.0%



2. 顔の見える関係づくり（複数回答）

	回答数	割合
1. 今まで知らなかった機関や団体、自助グループの人と知り合えた	82	71.3%
2. すでに知っている機関や団体、自助グループの人との関係がさらに深まった	40	34.8%
3. 特に得られるものはなかった	0	0.0%
4. その他	2	1.7%
5. 無回答	6	5.2%



3. アンケート回答内容（自由記述）

（１）交流やグループワークについて

- ・いろいろな人と交流できてよかった（１２）
- ・グループワークがとてもよかった／楽しかったです（６）
- ・関係機関の担当者と交流できてよかった。（４）
- ・依存症に関するいろいろな機関のことを知る機会になった（２）
- ・複数の自助グループの交流が画期的
- ・関係機関のつながりを見ることができた。
- ・大勢の人たちと出会いができて良かったです。
- ・当事者の心境、思いを率直に聞くことが出来た。
- ・アルコール、薬物、ギャンブル等、色々なアディクションの方のお話がいっぱい聞いて良かった。また、支援者側の意見も同一目線で語り合うことが出来てとても良かった。
- ・当事者の話をよく理解しようとしてくれた。
- ・普段つながれない人たちとつながることできて良かったです。
- ・いろいろな意見を聴くことが出来て本当によかったです。

（２）体験談について

- ・体験談がよかった（３４）
- ・他の自助グループの方の体験を聞くことが出来てよかった（１４）
- ・いろいろな依存症とその家族の体験談を聞くことができてよかった（３）
- ・相談機関や自助グループとつながりながら、回復されていく経緯がよくわかり、つながりの大切さを感じた（３）
- ・実話に勝る説得力はないと思いました。（２）
- ・リアルなお話が聞いて、その苦しさや今の努力など、胸が詰まりました。
- ・回復の可能性と、その結果得られるものについて話が聞けました。
- ・いろいろな言葉を聞けました。
- ・貴重な体験談から、回復の可能性のイメージが広がりました。
- ・あまり依存症の方、その家族の方のお話を聞く機会はないので、貴重な経験だった。
- ・いろんな自助グループの体験談が聞けたが、根本は同じですね。
- ・大変勉強になりました。回復者の様子を知らずして支援はできないと思うので、人材育成としてもこの機会は必要。
- ・自助グループの効果を改めて感じました。支援者としてできること、丁寧に自助グループにつながぐということに努めたいと思います。
- ・依存症には、本人・家族の人生を破壊する力があるので、解決は難しいと思いますが、あきらめずに努力していきたいです。どの方も大変だな、と思いました。
- ・家族の立場でもありますので本当によくわかり、これからの参考にもなりました。
- ・どの依存症でも、家族に与える害はやはりあるものだと意識できた。
- ・人とのつながり、仲間ができることで頑張っていけるということ、支援者としてオープンミー

ティングとかにもまた参加させていただきたいと思いました。

- ・正直に話をされてるなと思いました。
- ・回復のプロセスや自助グループにつながるまでの抵抗など、リアルにわかりよかったです。
- ・大変な体験を乗り越えられた際の心境の変化なども聞かせてもらうことが出来ました。
- ・個人や家族の話は、それぞれに過程や思いがあるから聞く機会があるのがよい。
- ・名前を言わないのがよくわかった。
- ・薬物のつらさ、自助グループへつながることの難しさを聞いて良かったです。
- ・自分のためになった。
- ・どんな状況でどんなつらい思いをされたのか、知ることが出来てよかったです。
- ・自分の気持ちを話せる場の大切さを改めて教えていただきました。
- ・「自助の力」をあらためて考え、感じられた。それにつなげる私の役割を確認した。
- ・4組の方の話、それぞれ自分の生活とは違うもので、いろいろな思いを持ちながらここで話をさせていただいてすごい勇気も必要だったと思います。貴重な体験をうかがえてありがとうございます。
- ・「つながり」という言葉が印象に残っています。どこかにつながる事が大事な事だと感じます。
- ・立ち直るためには何が必要なのか、いろいろな依存症があるが、人とのつながりという点では共通していると思った。
- ・「依存症的考え」を普通に戻していくという言葉が印象的でした。
- ・自分自身のことをよくわかっているなあと感心しました。

(3) 全体に関して

- ・回復施設の活動内容がよくわかりよかったです。(4)
- ・支援者や当事者同士仲間、という雰囲気だった。
- ・依存症と言う根底は一つであることを実感できた。「仲間」「孤独からの解放」等のキーワードは共通である。
- ・横のつながり、ネットワークを考えつくってくださっているのを感じ、感謝しています。
- ・これからの依存症についての情報共有など、ネットワークはとても大切だと思います。
- ・自助グループの実情が把握できました。
- ・「依存症」を抱える方への考え方が変わりました。
- ・「依存症はおぼれかけたものがつかむ浮輪！！」根っこはいっしょ、横のつながりが必要。(自助集団)
- ・いろいろな考え方があり、自助グループに通い続ける必要性を感じました。
- ・依存症という病気の本質は1つなので、共感が持てた。
- ・ミーティングが効果的ではあるものの、ベースに知的・発達障害があると難しいというお話にとっても共感しました。
- ・全体の雰囲気がよかったです。グループごとに分かち合いできたこともよかったです。
- ・いろんな方のお話を聞かせていただいて気づいたのは、みんな依存症じゃないか！と思います。支援者の方も実は…と家族の依存症の問題を抱えておられますよね。みんな仲間だと思いまし

た。だからつながること、とても大事です。自分のこととして考えられます。

(4) 内容に関する意見

- ・ミニフォーラムを引き続き開催してほしい（15）
- ・ミニフォーラムをもっと回数多く開催してほしい。（10）
- ・グループワークの時間が足りなかった（9）
- ・参加・不参加は関係なくOACメンバーを簡単に紹介してほしい。OACの現状、ネットワークの運用についての報告、検討があればよかった。
- ・医療機関のカウンセラーさんやそのほかの方々も来てほしいです。連携というのがとても大切だと思っています。
- ・課題としては市町村の参加がなかったこと。市町村を巻き込んでネットワークができたと思う。
- ・一つの依存症について、話し合いがしたい。
- ・AAの紹介が少なかった。
- ・時間に制限があるは、仕方ないですね。交流会よりも体験談をもっと聞く配分にしていただけてもよかった。
- ・グループ10名だったが、5～7名程度が適当と感じた。
- ・昨年の施設見学がよかったです。グループワークをするよりも顔の見える関係ができやすいように思います。発達の問題は、三依存共通の課題として取り組む必要があるのかもしれませんがね。
- ・地元での開催、とても意味があると思います。これからもこのような活動をぜひ続けてほしいです。
- ・専門医師の話をききたい。

(5) その他

- ・自助グループの中で、回復への道を進むことが出来ていくが、その活動が会場・場所の確保で難しい。その解決を行政がどう切り開いていくのか。
- ・市民の方に依存症という病気の姿を広めていくことをどう進めていくのかを考えたい。
- ・一般の人がアディクションについて学べるよう広報活動や講演会などを増やしてほしい。一部の人間しかかかわっていない印象を受けた。
- ・当事者・家族がリアルにつながる道を作ってください。援助職の人には遠慮なくミーティングに来てほしい。
- ・支援者・医療関係者・家族・当事者それぞれの勉強会などもしてもらえたらと思います。自助グループのことをもっと知ってほしいので。